

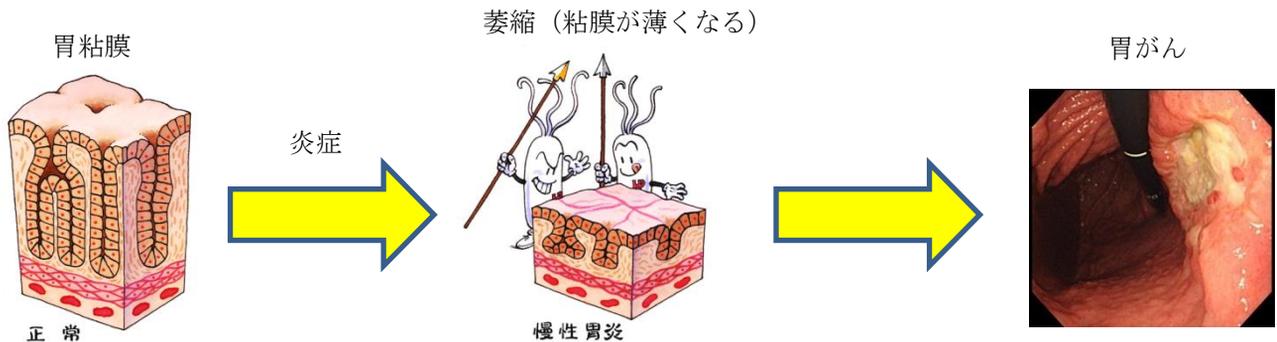
ヘリコバクター・ピロリ菌

- ・ピロリ菌の正式名は **Helicobacter pylori**
- ・[helico-] という言葉はギリシャ語の [heliko-] から来た言葉で、「らせん」「旋回」を（ヘリコプターの「ヘリコ」と同じです）、[bacter] はバクテリア（細菌）を、[pylori] は胃の出口（幽門：ゆうもん）をさす「pylorus」（この菌が胃の幽門部から多く見つかることに由来）を意味しています。



ヘリコバクターピロリ菌の特徴

- ・胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃がんの原因菌といわれています
- ・胃粘膜のみに定着する
- ・ウレアーゼを分泌する
- ・感染部位に炎症が起こる
- ・ピロリ菌が作り出すウレアーゼと胃内の尿素が反応してアンモニアが発生
- ・アンモニアは直接胃粘膜を傷つけます。



ピロリ陽性者は、陰性者より明らかに胃癌発生率が高く（Uemura N, et al., NEJM. 2001）、また、ピロリ菌を除菌することにより、胃癌発生率を1/3に減少できた（Fukase K, et al., Lancet. 2008）と報告されています。

治療（除菌）

1種類の「酸を抑える薬」と2種類の「抗菌薬」の合計3剤を同時に1日2回、7日間服用します。内服治療後、ピロリ菌が除菌できたかどうかを検査します。

どんな症状があったらピロリ菌の検査を受ければいいのか？

- ・胃や十二指腸潰瘍の経験のある方
- ・再発をくりかえす方
消化性潰瘍と診断された患者さんは、**健康保険**で検査を受けることができます。
- ・胃がん家系でご心配な方や、なんとなく胃の具合がいつも悪い方などは医師にご相談ください。
人間ドックや検診などで希望すれば**自費**で検査を受けることができます。